

ア 「『目指す子どもの姿』実現に向けた取り組み」

| 焦点化・重点化する内容 | 具体策 | 検証方法 |
|----------------------------------|---|---|
| 【郷土愛】 ○郷土食や伝統文化の学習を積極的に取り入れます | ・体験学習や見学学習の場や機会多くをつくる | ・柳津ならではの食材や人との関り、作る手間などのなどを調べたり体験したりすることで検証していく |
| 【学び】 ○読書に親します | ・授業の中の身近な所から、本に対する興味をもたせ、継続的に取り組んでいく | 家庭での時間の確保が難しいが家読やノーメディアを活かして取り組めるかを検証していく |
| 【学び】 ○「コレナニ？」を探し、調べる子ども | 授業の中で、「分かった」「できた」が増えていけば、子ども達の様々な興味・関心が高まっていく。そのため、普段の授業から主体的な学びの場を工夫して取り入れ、授業の充実に努めていく | 子ども達の興味関心が高まるごと、豊かな体験が増え、柳津への郷土愛も深まってくるだろう。 |

広報の具体策（いつ、どこで、だれた、どのように）

| | | |
|--|---------|---|
| 児童生徒へ | 保護者・家庭へ | 地域へ |
| ○HPを掲載する際に「目指す子どもの姿」実現に向けた取組にある、該当する活動や学習の一文を紹介しながら掲載する。 | | ○選挙ポスターのように、町の方々が見える場所に掲示する |
| ○PTA総会や授業参観などで、「目指す子どもの姿」実現に向けた取組を紹介していく。 | | 「『目指す子どもの姿』実現に向けた取組」について、いろんなところでキャンペーンも必要（SNSや広報、学校HP等）。 |

イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）

| 校長が特に協議を求める内容 | 解決策（地域連携や協働活動等） |
|---|---|
| ○放課後の児童看護について 授業が終わっていても、バスの時間まで、各担任がバス待ちの児童を看護している。そのため、先生方への研修や会議の機会が設けられない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭との理解と連携 ・バス待機児童への公民館活用 ・バス時間の変更 ・スクールバスの活用 |
| 今後、熟議として取り上げたい内容 | 部会としての方向性（決定） |
| | |

 (吹き出し) は、全体協議で口頭で説明があった内容。